

Cente Technical Information

発行番号	001-0028	Rev	第2版	発行日	2010/02/03
題名	使用中のファイル構造体が別ファイル用として割り当てられてしまう問題について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver5.50～Cente FileSystem Ver5.63				
影響API	fopen, fclose				
関連資料	なし				

【詳細】

入出力バッファの解放を行なう前にファイル構造体メンバの stat を 0 に初期化していたため、マルチタスク環境下では入出力バッファの解放を行なう前にそのファイル構造体が別のファイルに割り当てられしまう場合がある。
ファイル構造体に対する全ての操作が終了した後、stat を 0 に初期化するように修正。

【回避方法】

■運用での回避方法

以下の条件を満たすことにより、運用で回避することが可能です。
・複数タスクからのfopen()、fclose()同時実行を行なわない。

■プログラム修正による回避方法

・fs_ansi.c の以下の関数に修正が必要です。
DT_fclose()、fs_vfclose()

【 <fs_ansi.c> DT_fclose() 】

886行目

《追加》

```
stfp->stat = 0;
```

【 <fs_ansi.c> fs_vfclose() 】

923行目、942行目、952行目

《削除》

```
f->stat = 0;
```

以上